

平成 29 年度 事業報告

〈総括〉

法人各事業所では、各事業とも稼働率の向上及び収入増を図るべく、取得可能な加算を積極的に取り入れるなどし、経営の安定に努めてきた結果、介護老人福祉施設においては、重介護及び医療必要度の高い入所者の増加と共に入院者も増し、目標としていた稼働率に及ばなかったものの、収入としては前年比 2.3%増となった。同じくショート事業所は前年比 9.8%増、デイサービス事業「たんぽぽ」は前年比 33%増、同じくデイサービス事業「桜さんちの家」は前年比 29.5%増、居宅支援事業所は前年比 13%増と、前年度低下していた実績を戻すことができました。

通所部門では、地域密着型デイサービス「梅さんちの家」の建て替えがあり、利用者への影響を最小限に抑えながら遂行することを大きな目標の一つとしていたため、平成 29 年 4 月 1 日より、「梅さんちの家」を一旦休止し、建替えが終了した時点で再開という計画の下、他通所事業所と協力しながら利用者への物理的・心理的な負担軽減に努めました。この間、一年を通し、今後のデイサービスの経営について理事会で議論を重ねた結果、小規模デイサービス「梅さんちの家」の廃止が決定され、新築の建物に「桜さんちの家」を移転することとなり、3 月末日にて「梅さんちの家」は閉鎖致しました。

人材の育成及び確保については、今年度も施設外研修への参加を積極的に行い、専門的知識・技術の習得に努めました。平成 29 年度の離職者は 2 名で、入職者は 3 名。平成 29 年度も高い定職率を維持しています。

法人経営としては、経営基盤を強固なものにするため、今年度より理事長による月に一度の法人会議を開催し、職員の経営感覚を高めて参りました。同時に社会福祉法人経営労務管理改善支援事業補助金を受け、財務分析による中長期計画の策定、ガバナンスの強化、人事労務管理強化にもそれぞれ充実した取り組みを行うことができた年となりました。

〈平成 29 年度重点目標〉

1. 安定経営の確立

- 稼働率の向上や各種加算の確保等により、収入維持・増を図った。
- 無駄の排除、価格の精査により、経費節減に努めた。
- 財務分析により、中長期計画の見直しを行った。
- 経営会議において、毎月の経営状況の把握をし、リアルタイムでの対策を立てた。

2. 人材育成の強化

法人内研修の一層の充実を図った。外部研修の積極的な受講に努めた。新規採用職員の研修プログラムの充実に努めた。

3. 建物・設備への対応

□老朽化による通所介護の建替えを行った（平成29年9月16日～平成30年3月9日）

□継続してホームの照明を使用頻度の多い順に行った。

□その他、修繕・買い替え・新規購入等以下の通り。

4月	・事務室照明器具LED化工事 ・ホール等の引き戸取替
5月	・職員通用口ガラス戸修理工事
6月	・ケアマネ提供表FAX送信システム導入 ・洗濯室内全自動洗濯脱水機入替
7月	・機械浴モーターバルブ交換工事 ・室外機インバータ系絶縁不良修理
9月	・浴室バルブ交換工事 ・栄養科シンク漏水修理
10月	・外部照明器具交換工事
11月	・栄養科検食用冷凍庫買換 ・たんぽぽトイレ手洗い工事
12月	・衣類乾燥機買換
1月	・誘導灯モジュール取替工事 ・機械浴ストレッチャーバッテリー交換 ・栄養科職員倉庫天井給湯管漏水修繕工事
2月	・機械浴センターパネル基盤交換 ・栄養科壁タイル補修工事
3月	・スプリンクラー設備不具合修繕 〈新築桜さんちの家〉 機械浴槽・食堂テーブル・食堂椅子・静養室用ベッド・平行棒・TV・テレビ台・相談室用テーブル・ソファ・事務室用椅子・机・冷蔵庫・食器棚・電子レンジ・洗濯機等

〈法人運営〉

1. 理事会

理事	定数6名
監事	定数2名

◎理事会の主な審議事項

〈平成29年 5月24日（水）〉

- ①平成28年度事業報告
- ②平成28年度決算報告
- ③平成28年度監事監査報告

平成29年6月12日（月）

- ①理事長の選定
- ②「梅さんちの家」建替え 一般競争入札と入札公告（案）の件
- ③理事長業務報告等

平成29年8月2日（水）

- ①「梅さんちの家」建替え工事業者決定の件
- ②「梅さんちの家」建替え工事請負契約書（案）の件
- ③理事長専決事項・業務報告等

平成29年11月14日（火）

- ①社会福祉法人ゆうゆう会定款細則の一部改訂
- ②補正予算（案）
- ③役員報酬規程の改定について
- ④「桜さんちの家」「梅さんちの家」の今後の在り方について
- ⑤理事長専決事項・報告事項等

平成30年1月24日（水）

- ①新築デイ介護浴槽の件
- ②リネン・給食委託業者の平成30年度継続について
- ③新築デイ名前変更（桜さんちの家の移転）の件
- ④通所事業所「たんぼぼ」「桜さんちの家」の運営規程改定の件
- ⑤就業規則改定の件
- ⑥資格取得支援規程の件

平成30年3月20日（火）

- ①電力会社切り替えの件
- ②平成30年度事業計画（案）
- ③平成30年度予算（案）
- ④たんぼぼ・桜さんちの家の運営規程変更の件
- ⑤旧桜さんちの家の今後について
- ⑥理事長専決事項・報告事項等

2. 評議員会

評議員 定数7名

◎評議員会の主な審議事項

平成29年6月12日（月）

- ①平成28年度事業報告
- ②平成28年度決算報告
- ③平成28年度監事監査報告
- ④理事・監事の選任について

平成30年3月28日（水）

- ①「梅さんちの家」「桜さんちの家」について
- ②平成30年度事業計画（案）
- ③平成30年度予算（案）
- ④定款変更（案）について
- ⑤役員報酬規程について

〈各事業所報告〉

【本部】

1. 事務局

- ①理事長主催の経営会議を月に1度開催し、職員の経営感覚を高めることに努めた。
事務費・事業費については、各部門と協議の上、取引業者の見直し等を行い、支出を削減した。
- ②助成金・補助金の情報収集に努め、人材確保・研修等に有効に活用した。昨年に続きキャリアパスの整備、休暇の充実等のため就業規則の改定を行った。また、人材確保・育成のため、資格取得支援規程を策定し、研修費用の助成を制度化した。
- ③加算・人員配置等を毎月チェックし、適正な事務処理の遂行に努めた。法令・通達等の情報収集を毎日欠かさず行い、日々適正な運営を心掛けた。
- ④パンフレット記載内容に変更が出た際には、速やかに修正を行った。
- ⑤自治会や地域の方々に、定期的に会場場所を提供し、会合・地域活動にも出席し、広く交流を持ち、自法人の広報にも努めた。

〈その他〉

*人事労務管理の業務効率化を図るため、職員のデータを一元化し、職員台帳の整備を行った。

*法人の内部統制機能の強化のため、監事監査マニュアル・監事監査チェック表を新たに整備し、理事内で2回研修を行った。

2. 職員の健康管理

健康診断	新入職員採用時健康診断
	定期健康診断 夜勤有り職員 5月・11月、夜勤なし職員 5月
	健康診断結果の報告

3. 防災管理・防災計画

- 防災管理者が中心となり、職員の防災に対する意識・知識の向上に努めた。
- 備蓄品点検／ひかり苑拠点・町会用共 平成29年5月
- 備蓄品補充／ひかり苑用、町会用共に9月・10月にて補充
- 総合避難訓練／平成29年11月1日、出火元3F、T氏居室
- 避難・夜間想定訓練／平成30年3月26日 夜間24時頃、出火元1F調理室を想定

4. 地域活動

- 地域自治会の運営援助(自治会ニュース、行事パンフ等の作成)、消火器交換の手伝い等。
- 地域のニーズに気付き応えられるよう、地域住民の情報収集・法人の広報に努めた。
- 川口社協鳩ヶ谷支部独居高齢者昼食会の企画、場所・食事の提供を行なった。

12月4日(日) 9:00～ 於：ひかり苑内 デイホームたんぼぼ

□ 「おとなり介護2017」

地域の高齢者の方々向けの介護予防教室や体操教室を3ヶ月毎に開催した。

第1回 5月17日(水) 14:00～16:00

認知症サポーター養成講座&ティータイム

第2回 8月23日(水) 11:30～

第一部 ほねほねアップセラバンド体操

第二部 ほねほねアップごはんを食べよう

骨粗鬆症予防に有効な昼食を食べながらの骨量アップ講習会

第3回 12月20日(水) 14:00～

年忘れ・クリスマス歌謡ショー

第4回 2月28日(水) 14:00～

let's 生き生き体操&ティータイム

理学療法士によるバランス維持体操

【施設部門】 特別養護老人ホーム、ショートステイ

1. 介護部

- ① 外部研修に参加した職員がスタッフ会議内で研修を行い、OJTの一部として定着させ

た。介護福祉士・介護支援専門員受験資格者に、試験案内等の啓蒙や研修等の支援を行った。

○OJT実績

褥瘡予防研修、感染症予防研修、看取り研修、事故防止研修、虐待防止研修、身体拘束廃止研修、ノロ・インフルエンザ予防研修等

○外部研修

虐待防止研修、中堅職員研修、チームリーダーキャリアパス研修、人材育成研修、感染症予防研修、BCP研修、話し方・折衝・交渉力向上研修、看取りケア研修、初任者キャリアパス研修、選べる認知症研修、ナレッジマネジメント研修、認知症基礎研修、リスクマネジメント研修、レクリエーション研修、労務管理者研修、接遇研修、介護記録などの書き方研修、接遇邁進者養成研修、高齢者虐待防止研修、コミュニケーション力向上研修、広報に関する研修、チューター研修、腰痛予防研修、ストレスマネジメント研修、経営戦略セミナー 等

②継続してリーダー会議を定期的に設け、課題解決に努めた。情報共有ノートの作成や業務マニュアルの更新等により、連携面を強化した。

③継続して各種委員会の質の向上に努めた。

○事故防止委員会

事故簿・インシデントレポートが提出された件につき、検証し統計を取り、再発防止のためのモニタリングを行い、再発防止に努めた。事故リスクが高い方については、個別での対応を検討した。事故防止用品の管理を一元化し、活用の適正化を図った。

・事故件数/141件 ヒヤリハット件数/27件 県、市への報告件数/1件

○身体拘束廃止委員会

身体拘束の排除と職員の言葉遣いや対応等において虐待に繋がるケアがないかを常に見直した。

○排泄委員会

入居者個々にあった排泄介助時間・オムツの種類等の検証を行い、快適・安心を追求した。

○育成委員会

育成担当職員を中心に、新入職員の育成の充実を図った。

○リクレ委員会

毎月の誕生会の開催、月に一度の行事計画、日々の体操・レクリエーションの計画を行った。

○給食委員会

利用者の変化に合わせた食材料や提供形態への対応協議、提供方法等の摺合わせ、利用者の嗜好調査、食器類などのチェック、行事食の企画等

○美化委員会

生活空間の美化や働きやすい環境の整美に取り組んだ。

○スタッフ会議

業務改善、入居者・職員の処遇の改善に取り組んだ。

- ④各専門職が連携し、誤嚥リスクの減少や経口摂取維持のための計画作成等を行い、誤嚥防止に努めた。
- ⑤協力病院との連携に努め、スムーズな受診・入院・退院・看取りが行えた。
- ⑥ショート／細やかな対応・迅速な対応を心がけ、稼働の安定に努めた。

〈その他〉

○季節の行事だけでなく、ラジオ体操・口腔体操・書道・ボールレク・施設周辺の散歩等、日常生活の中でのレクリエーション開催に努めた。不定期であるものの、昨年度より多くの機会を作ることができた。

○ケーキバイキング、すし職人による握り寿司の提供等、毎月2回以上行事食を取り入れた。

特別養護老人ホーム・ショートステイ 平成29年度行事

- ◎誕生会 毎月1回
- 花見外出行事
- 母の日ケーキバイキング
- 父の日を祝う会
- 七夕行事
- 納涼祭
- 長寿会
- クリスマス会
- 正月獅子舞
- 節分行事
- ひな祭り行事
- ひかり苑感謝祭

2. 看護部

感染症委員会

定例・緊急委員会、年4回開催。

褥瘡委員会

定例褥瘡予防委員会を、年4回開催。

入居者の皮膚の状態を確認し、エアマット・低反発・高反発マットの使用管理、ハイリスク者の褥瘡対策を立て、評価し、予防に努めた。

平成29年度入居者数（54床）

月	人数平均／月	利用率
4月	50名	94%
5月	51名	95%
6月	52名	94%
7月	51名	94%
8月	50名	92%
9月	50名	93%
10月	52名	96%
11月	51名	95%

平成29年度入退所等

入所相談件数／49件
入退所件数／入所18件、退所15件
入所判定委員会／13回
入院者数／24名
平均入院日数25.6日
看取り件数／7名

12月	49名	92%
1月	50名	92%
2月	51名	95%
3月	50名	94%
平均	50名	94%

平成29年度 ショートステイ利用者数稼働

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	利用日数/延/月(日)	利用者数/日/(人)	稼働日数
4月	8	0	7	9	12	69	18	123	4.1	30
5月	0	9	0	6	7	58	42	122	3.9	31
6月	0	9	5	2	13	68	55	152	5.1	30
7月	0	11	5	7	13	69	63	168	5.4	31
8月	0	11	0	0	13	56	55	135	4.4	31
9月	0	8	0	0	13	74	71	166	5.5	30
10月	4	0	3	11	16	69	74	177	5.7	31
11月	5	0	0	8	15	64	77	169	5.6	30
12月	4	7	0	0	19	64	83	170	5.5	31
1月	4	0	0	0	18	64	72	158	5.1	31
2月	4	0	2	0	23	58	66	153	5.5	28
3月	4	0	0	0	46	64	93	207	6.7	31
計	33	48	22	43	208	777	769	1,900	5.2	365

稼働率 87%

【在宅部】 デイサービス たんぽぽ・桜さんちの家・梅さんちの家

梅さんちの家・桜さんちの家について

建物の老朽化により建替えを行い、3月9日に引き渡しを迎えた。当初は「平成29年度は梅さんちの家を休止し、建替えが済んだ時点で再開」という計画を立てていたが、理事会で審議を重ねた結果、「梅さんちの家」を休止⇒廃止とし、建て替わった新築デイサービスに「桜さんちの家」を移転した。

①稼働率の安定

在宅部会議を月に1回開催し、稼働率の把握、新規利用者獲得に努めた。

平成29年度 「たんぽぽ」稼働

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計人数	稼働率	MAXに対する%	稼働日数
4月	0	18	111	130	90	90	29	468	81%	36%	25
5月	0	15	113	142	85	58	49	462	76%	35%	26
6月	0	19	121	104	111	60	48	463	76%	35%	26
7月	5	14	111	107	124	48	49	458	76%	34%	26
8月	9	17	129	77	126	69	34	461	73%	31%	27
9月	7	10	136	79	119	53	24	428	71%	29%	26
10月	10	8	124	84	139	45	32	442	72%	33%	26
11月	9	7	120	80	140	40	33	429	70%	32%	26
12月	10	9	113	87	137	37	31	424	71%	31%	26
1月	10	7	97	68	111	32	10	335	60%	23%	24
2月	22	7	120	82	104	32	16	383	68%	29%	24
3月	13	8	132	96	101	38	18	406	65%	29%	27
計	95	139	1427	1427	1387	602	373	5,159	72%	31%	309

平成29年度 「桜さんちの家」稼働

年 月	介護	支援	合計人数	人数平均%	Maxに対する%
平成29年 4月	270	0	270	90%	38%
5月	264	0	264	80%	36%
6月	258	0	258	78%	34%
7月	225	4	229	72%	30%
8月	245	5	250	72%	29%
9月	224	4	228	72%	28%
10月	229	4	233	70%	28%
11月	215	5	220	66%	28%
12月	218	4	222	67%	27%
平成30年 1月	198	5	203	63%	27%
2月	184	4	188	62%	30%
3月	204	4	208	60%	25%
合計/平均	2,734	39	2,773	71%	30%

②利用者満足の向上

利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じ自立した生活を営むことができるよう、「自立支援」「尊厳の保持」を基本にサービスを提供した。

③職員の資質向上

OJT・外部研修の機会を多くし、職員の資質の向上に努めた。

○OJT

事故防止研修（送迎・入浴）、感染症予防研修（食中毒・インフルエンザ・ノロウイルス）、個人情報保護研修、高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修、緊急災害対策研修、緊急対応研修

○外部研修

チームリーダーキャリアパス研修、感染症基礎研修、人材育成研修、認知症研修、ナレッジ・マネジメント研修、スーパービジョン研修、接遇研修

④サービスの充実

体を動かすレクリエーションを積極的に取り入れ、利用者の身体機能維持・向上に努めた。

⑤地域への展開

近隣のボランティアを積極的に活用し、利用者と地域住民とのふれあいの場を多くすることに努めた。

*舞踊ボランティア、カラオケボランティア、畑仕事、散歩付き添いボランティア等

*その他

〈行事等〉

- 4月 お花見
- 5月 しょうぶ湯、母の日の祝い
- 6月 父の日の祝い
- 7月 七夕祭り
- 8月 夏祭り
- 9月 お月見団子作り、敬老会
- 10月 ハロウィン、運動会
- 11月 紅葉狩り、文化祭
- 12月 クリスマス、餅つき、ゆず湯
- 1月 初詣、獅子舞鑑賞、書初め
- 2月 節分豆まき
- 3月 ひな祭り

○たんぽぽ／平成29年5月13日（土）川口介護フェスティバルに作品展示

○桜さんちの家／

運営推進会議 平成29年9月1日、平成30年3月2日
内覧会 平成30年3月22日・23日

居宅介護支援事業所ひかり苑

開設4年を迎え、前年度に引き続き、継続して住み慣れた自宅でその人らしい生活が継続できるよう、また介護者に過度の負担がかからぬよう、利用者や家族の体調・生活状況・生活上の問題点を確認しながら、支援を行った。

訪問診療機関との連携により、終末期における在宅支援への関わりも多くなった。

請求実績は、ほぼ計画通りであった。

□ケアマネジメントの充実

- ・利用者、家族との信頼関係を構築することに努めた。
- ・アセスメント、サービス担当者会議、モニタリング、再アセスメントを適切に実施し、自立支援の理念に沿った介護計画を作成した。

要支援者へのケアマネジメントも引き続き実施している。

□関係者との連携強化

他職種との連携、共同の強化を図った。

ターミナル支援の件数が増えた。多職種連携により、自宅での看取り支援も実施している。

□地域ケア会議への参加

外部会議出席 5回

会議企画運営への協力を行った。

□専門職としての資質の向上

H30年度介護報酬改定について、外部・内部にて研修を実施。

外部研修 16回

内部会議 1回

専門員研修 I 受講（1名）

*その他

新規契約者／25人、契約終了者数／19人